

保護者の方へお願い : この内容についてお子さんにご説明ください。問題がなければ直接お渡しください。

これからおとなになっていくみなさんへ

～自分で守ろう自分の体～

子宮頸がん予防には、ワクチンと子宮頸がん検診、どちらも必要！

子宮頸がんはヒトパピローマウイルス（HPV）が原因でおこります。HPVは性交渉の経験がある女性のほとんどが感染するといわれています。多くは自然に消失しますが、一部の方では持続感染し病気につながるとされています。HPV ワクチンは、子宮頸がんの原因になる HPV の侵入を防ぐ働きがあります。約 90%の子宮頸がんを防げますが、ワクチンですべての頸がんを防げるわけではありません。

パートナーができれば、必ず、子宮頸がん検診も受けましょうね！

性感染症ってなに？

性交渉を介してうつる病気ですが、それ以外の理由でも感染する可能性のある病気です。りん病、梅毒、エイズ、クラミジア、ヘルペス、尖圭コンジローマなどがあります。これらの病気のなかには、薬の治療で治るものもありますが、治りにくくて、みなさんや、その子どもたち、パートナーにも悪影響を及ぼすものもあります。

妊娠について

性交渉によって精子と卵子が出会うと、妊娠し、赤ちゃんが生まれることになります。新しい命が芽生えることはすばらしいことです。生まれてくる赤ちゃんが、ご家族みんなから笑顔で迎えられることは、とても幸せなことです。しかし、みなさんが、大人になる前や準備が整わないうちに妊娠すると、出産や育児がうまく行かないことがあります。自分と、生まれてくる子供の将来の事をよく考えて行動することが大切です。

避妊と感染予防について

自分の心と体を大切にしましょう。いつか将来、大事な人と家庭を持つことになるでしょうが、その時のために慎重に行動し、健康な心身を保ちましょう。

性感染症をできるだけ防ぎ、望まない妊娠をしないためには、性交渉の時にきちんと最初からコンドームを使用することが必要です。性犯罪に巻き込まれた時や、やむなく避妊に失敗した時には、緊急避妊のために、適応のある薬を内服するという手段がありますが、48 時間以内（遅くとも 72 時間以内）に産婦人科を受診することが必要です。

思春期や性に関する疑問について

いろんなことで考え込んだり、悩んだりすることがあるでしょう。相談できる人はいますか？ 家族、先輩、友だちなどと話したりすることも大切ですが、話しにくいこともあるかもしれません。学校の養護の先生、町の保健師さん、保健所、電話相談窓口にも相談に乗ってくれる人たちがいます。また、専門の知識のある産婦人科の先生も相談に乗ってくれます。困ったことは早めに相談しましょう。

福岡県産婦人科医会・福岡ブロック会
福岡地区小児科医会

